

アルカリ水分解装置システムのコストを 実用レベルまで低減するアノード素材

鳥取大学 辻悦司

【見つかった新しい事実】

再生可能エネルギーを利用した水素製造法であるアルカリ水分解において、システムコストを実用レベルまで低減することが期待できるアノード素材を開発した。

【その事実による社会へのインパクト】

本アノード素材を用いた大型アルカリ水電解システムが普及すれば、燃料電池車（FCV）や発電向けの水素製造コストを低減することに大きく寄与する。

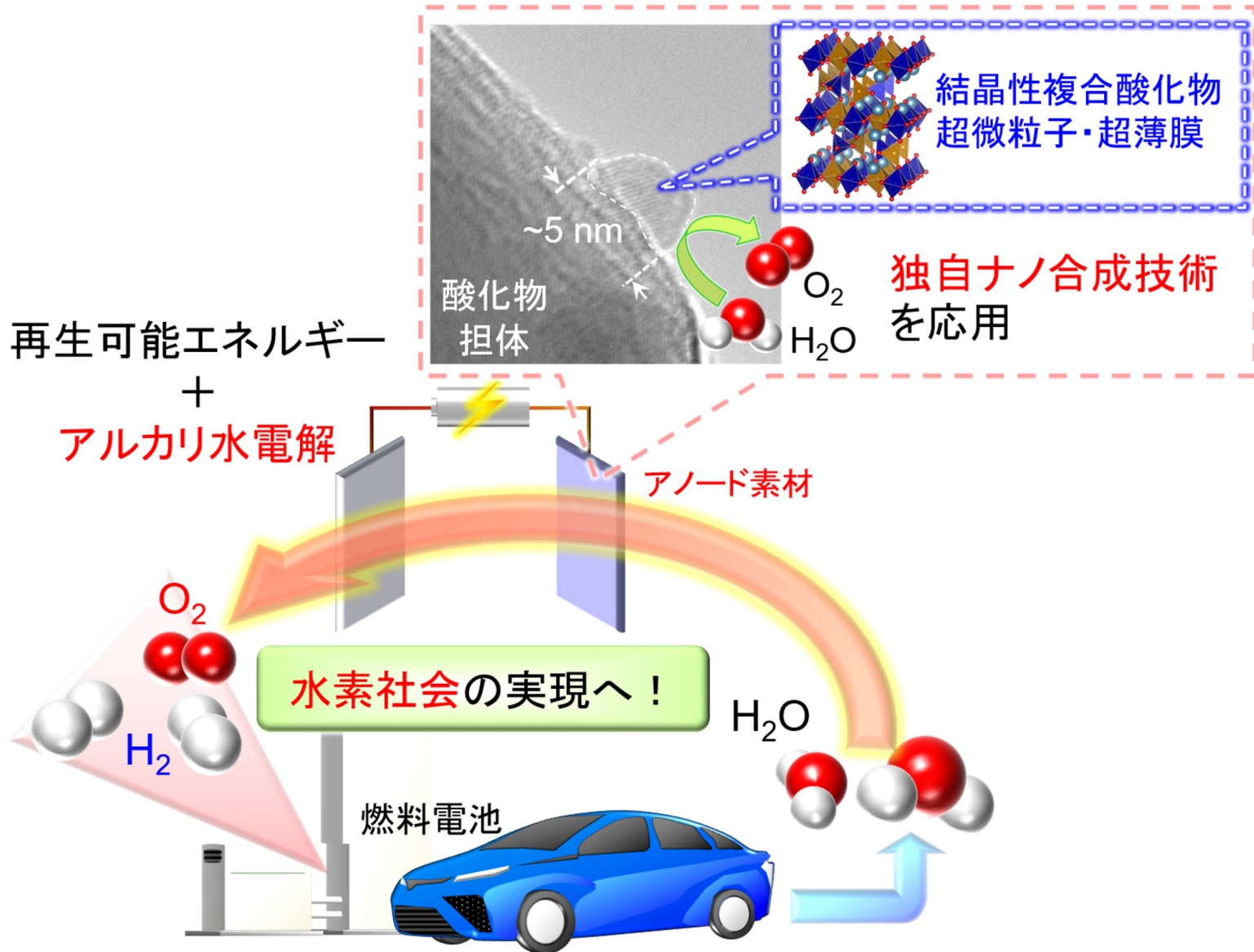
また、家庭の太陽光パネルでの余剰電力をその場で水素に変えて貯蔵し利用するといった新たなライフスタイルも提案できる。

家庭での水素製造が可能となれば、水素の運搬コストも削減できる。

【社会実装・製品展開（企業への期待）】

本アノード素材を用いたアルカリ水分解装置システム実用性検証を進めて社会実装を実現するために、本アノード素材の開発に企業の参画を期待する。

【概念図】



【問い合わせ先】

株式会社キャンパスクリエイト

Tel : 042-290-5734

メール : online@campuscreate.com